

令和5年度 児童発達支援・放課後等デイサービスの 自己評価の集計結果と改善案

【評価の概要と目的】

- ◎実施日：令和5年6月下旬に配布し7月15日に回収
- ◎公表予定日：令和5年8月
- ◎公表方法：法人ホームページ、事業所内掲示、広報にてHPのQRコード配布
- ◎保護者評価依頼数： 11名
 児童発達支援・・・利用者数1名 回収数1
 放課後等デイサービス・・・利用者数13名 回収数7
- ◎職員自己評価数：16名配布 14名回収
- ◎目的：サービス支援の質の向上

1. 【保護者評価の結果と改善案】

「はい」以外の回答数が人数の過半数の項目は以下課題として改善目標を立てることとする。

項目	内容	保護者ご意見	改善案
適切な支援の提供	① 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子供と活動する機会があるか。	意見なし	・交流することでのメリットをスタッフが学び、保護者へ情報提供していく必要がある。
	② 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子供と活動する機会があるか。	意見なし	・安全性を保てるのであれば保護者の意見を踏まえたうえで事業所のイベントとして取り入れる事も考える。
保護者への説明等	① 父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	意見なし	・昨年度よりママカフェを開催しているが、誘致している保護者を限定しているため今年度は参加誘致できていなかった保護者の誘致も考える。
	② 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	意見なし	・支援計画に取り入れていく。 ・ペアレント・トレーニング等について事業所内での研修等知識の向上が必要。
	③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があっ	・苦情対応について聞いたことがない	・契約時の説明の際に苦情窓口の案内をしている。 ・定期的な家庭連携の際に困っていることなどないか、不穏なこ

	た場合に迅速かつ適切に対応しているか		とがないか聞き取りを行ない、必要があれば案内をする。
非常時等の対応	① 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知説明されているか	意見なし	・広報誌に情報を掲載するなどして周知していく。 ・保護者向け防災マニュアルの作成→配布を行なう。
	② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	行なわれているようだが、曜日によって子供が参加できていないようだ	・広報誌に情報を掲載するなどして周知していく。 ・利用者との合同訓練も今後検討していく。

2.【事業所職員評価の結果と改善案】

「はい」以外の回答数が人数の過半数の項目は以下課題として改善目標を立てることとする。

項目	内容	職員意見	改善案
業務改善	①保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		・評価表を基にミーティングを行ないサービス向上に努める ・スタッフ周知が必要。
	②この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		・公開している。 ・スタッフ周知が必要。
	③第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	・行っているのか把握していない。	・第三者の外部評価は行っていない。
	④職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・多職種による研修会を定期的で開催している。また、研修内容は記録に残し全体に共有している。	・継続実施
適切な支援の提供	①子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・アセスメントツールとは？	・利用者情報やケアに関わる情報共有ツールはあるが療育目線からのアセスメントツールは検討必要か。
	②平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	・夏休みの宿題などがあるときは目標を決めてサポートしている。	・学校長期休業時などは利用者に合わせて課題や目標を設定してサポートにあたることはある。平日利用時の課題設定も検討する。
	③支援終了後には、職員間で必ず	やるときとやらないときがあ	・伝達ミス防止の為毎日開催を

	打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか	る	基本としている。忘れず行なっていく。
	④ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行なっているか	記載なし	・ガイドラインの総則についての従業員への周知が必要
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	①学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	実例がない。	・実際に移行支援のケースが出たら情報共有を行う。
	②児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	開所前に行っていた。	・必要であれば助言を求められる事業所や医療機関との連携がある。
	③放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	・行っていない。	・交流することでのメリットをスタッフが学び、保護者へ情報提供していく必要がある。
	④保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		・交流することでのメリットをスタッフが学び、保護者へ情報提供していく必要がある。
	⑤(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議などへ積極的に参加しているか		・所長が参加している。 ・参加した場合は全体に情報共有する。
	⑥(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		・所長が参加している。 参加した場合は全体に情報共有する。
	⑦保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		・今後、家族支援プログラムに項目追加する。 ・スタッフが支援できるよう養成研修する機会を設ける。 ・ママカフェなどの場を設けて支援につなげていく。
保護者への説明責任等	①事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		・一般公開する場合のプライバシー保護の観点から保護者承諾のもとで行事に一般の方を招待するか否かを定める必要がある。

非常時の対応	①食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示に基づく対応がされているか	・実例がない。	・現時点では実例はないが、契約時の聞き取り等で食物アレルギーを必須項目として追加するか検討する。また指示書が必要と判断された場合、速やかに対応する。
--------	---------------------------------------	---------	--

以上が今年度の自己評価集計結果に伴う課題、改善案となりました。

課題においては、来年度の自己評価時期を目標に一つ一つ取り組んで参りたいと思います。

今後も、より良いサービスを提供できるよう、サービスの質の向上を目指し、保護者・利用者及び事業所職員の意見を真摯に受け止め改善に努めて参ります。